

2019年2月21日

JATO Japan Limited プレスリリース

2018年グローバル新車販売台数速報

「2018年のグローバル新車市場は安定成長を維持 継続する SUV 人気 MPV およびコンパクトカー販売減少を相殺」

- 2018年の新車市場はトップ54の市場において8,600万台の販売台数を記録
- グローバルカーおよびLCVの販売台数は0.5%の落ち込み。欧州、中国、米国市場は失速
- VW Group、Toyota、Renault-Nissan がランキングを上位を占める
- SUVの販売台数は3,000万台、乗用車販売台数の36%を占める結果に
- 電気自動車販売台数は74%増と過去最高を記録

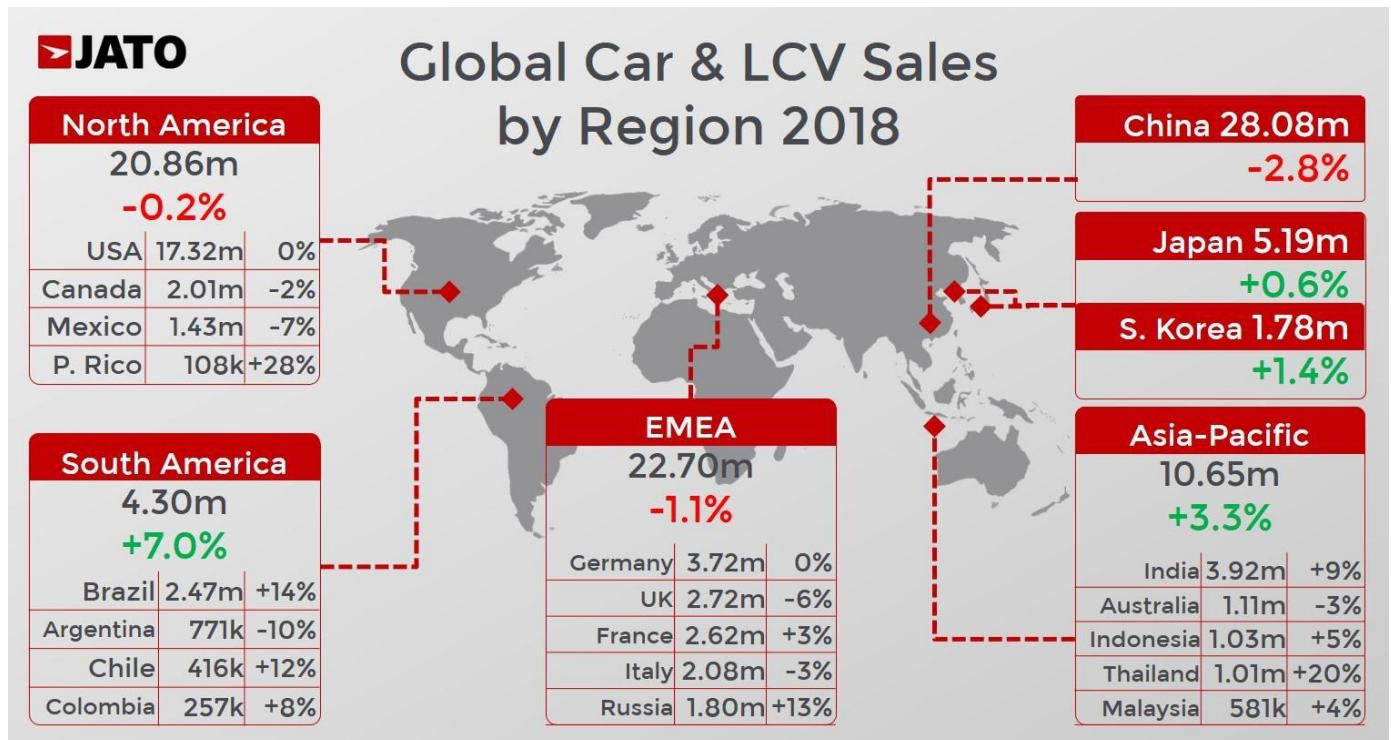
2009年以来、初の販売台数減少となった2018年はグローバル新車市場にとって若干困難な年となった。多くの自動車メーカーが米中貿易紛争、主要マーケット国における政策転換、そして業界の成長鈍化という新しい脅威の影響を実感した。「2018年という年は、自動車産業にとって新時代の始まりと言えるかもしれない」とJATOグローバルアナリストのFelipe Munozは語る。

欧州、中国、アメリカの販売失速をインド、ブラジル、ロシア、東南アジアの良好な結果が相殺した。「中国市場の急降下は2018年のグローバルマーケットにとって想定外の事態だった。中国は全世界セールスの30%近くを占めるため、いかなる変化でも世界中に影響を及ぼしてしまう」とMunozは解説する。中国の販売減少に加え自動車産業は欧州マーケットにおいて、プレクジットが引き起こす影響と、より複雑な環境規制の導入による不確実さに対処しなければならない。さらにいくつかの主要自動車メーカーは、経営陣交代という中でのビジネスを迫られた。



2018年の最も特筆すべき点は、ついにドイツのセールスを上回ったインドが世界第4位の市場になったことである。インド市場の成長は今後数年続き、2021年には世界第3位の市場になると予想される。

またランキングにおいてロシアは韓国を追い抜き、二大生産国であるアルゼンチンとトルコは困難な経済状態の影響を受けて低迷を経験した。中国は 2,808 万台と世界市場を牽引し続け、欧州の 1,770 万台、米国の 1,730 万台がそれに続いた。一方、ラテンアメリカは販売台数 560 万台を記録し、日本の 520 万台を抜いた。



2018 年は電気自動車（バッテリーEV）の販売において記録的な年となった。乗用電気自動車は前年比 74%の大幅増となる 126 万台の年間販売を記録した。様々な要因により、電気自動車はグローバルマーケットにおいて最もセールスを伸ばしたカテゴリとなった。まず、EV 車に対する中国政府が行った優遇策が消費者へ EV 車の存在を認識させ、年間を通じて EV 車への需要が急騰したことが挙げられる。二番目は、Tesla の躍進である。ようやく市販化された Model 3 は北米販売にも後押しされ、世界で最も売れた EV 車となった。最後は、欧州におけるディーゼルスキャンダルが消費者に電気自動車のベネフィットを認識させた点である。

SUV は再びグローバルマーケットにおいて販売を伸ばした。SUV セグメントは一過性のブームではなく、息の長いトレンドとして世界の消費者にアピールを続けていることの証明と言える。しかしながら、予想されていたようにその成長は一桁台へ低下しつつある。2018 年における SUV 販売は 2,977 万台、2017 年に対して 7%の増加（関連リンク、英文のみ）。依然 SUV セグメントは堅調な伸びを示しており全セグメントの中で最もその成長率が高いが、過去 4 年の中で最も低い伸び率であり、それは前年同期比 13%増であった 2017 年の半分に留まった。

Toyota、Hyundai-Kia、Volkswagen Group が 2 桁台の成長を示したにも関わらず、Renault-Nissan は SUV 市場を支配し続け、そのマーケットシェアは約 12%を記録している。FCA、Geely、Mazda、Tata Group のセールスにおける SUV の割合は大きく、それは多くの中国メーカーも同様である。

2018-FY Global-54 BEV Car Sales

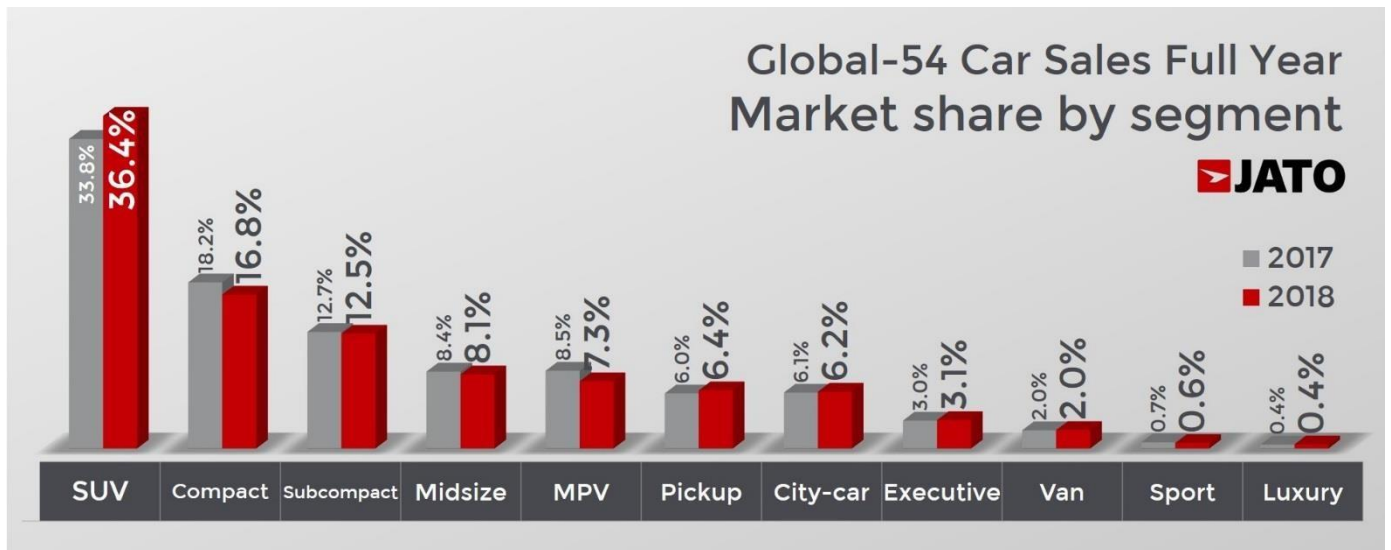


| Top 5 (000) | | | | | | | | |
|-------------|---------|-----|--------|--------|-----|--------|----------|-----|
| Markets | China | 769 | Brands | Tesla* | 230 | Models | Model 3* | 138 |
| | USA | 209 | | BAIC | 152 | | EC | 92 |
| | Norway | 46 | | BYD | 95 | | Leaf | 85 |
| | Germany | 35 | | Nissan | 92 | | E200 | 51 |
| | France | 31 | | Zotye | 64 | | Model S* | 48 |

*Estimates for Nov, Dec data in USA & Canada

全ての SUV サブセグメントにおいてもセールスは好調を記録した。依然、コンパクト SUV は最も人気があり 2018 年は 1,230 万台の販売を記録、ミッドサイズ SUV が 720 万台とそれに続く。小型 SUV は 2 桁台の成長となる 660 万台、そして大型 SUV は 370 万台の販売を記録した。

SUV の好調な販売は、セダン、ステーションワゴンといった従来型セグメントの犠牲によってもたらされている。中でも MPV は最大の販売減となっており、14%減の 600 万台（2017 年から 100 万台減）とほぼ全てのマーケットにおいて人気低下となっている。コンパクトカー（ハッチバック、セダン、ステーションワゴン）のセールスもまた下降線をたどっており、米国および欧州における販売減を主たる要因として、前年比 8%のマイナスを記録した。



対照的に販売好調だったのがピックアップカーで、2017 年より 5%増の 520 万台が販売された。米国はピックアップカーの全世界販売台数の半数を記録したが、驚くべきことにその好成長は米国が牽引したのではなく、タイとブラジルである。

Ford の F-Series は世界販売第 1 位のポジションを維持し、唯一の 100 万台超を販売する車両となった。その要因は米国における F-Series の驚異の人気であり、グローバル販売台数の 84%を占めている。

Toyota Corolla は再び世界販売第 2 位と堅調なポジションを保持、次世代モデルの投入が期待されている。対照的に Volkswagen Golf は 2017 年に第 3 位につけたものの、2018 年は第 7 位へ順位を落とし、トップ 10 の中で最大の下落となった。Golf は欧州ディーゼルスキャンダルの影響を受けたことだけでなく、現行モデルの古さに加えて次世代モデルが 2019 年末まで登場しないと予想されたことが原因である。

| Brand* | | | Model** | | | | |
|--------|------------|-----------|---------|-------|--------------------------|-----------|------|
| | Sales | ΔYoY | | Sales | ΔYoY | | |
| 1 | TOYOTA | 8,091,277 | +3% | 1 | F-SERIES | 1,076,153 | 0% |
| 2 | VOLKSWAGEN | 6,746,204 | +1% | 2 | COROLLA | 934,348 | +1% |
| 3 | FORD | 5,329,290 | -11% | 3 | CIVIC | 812,767 | +2% |
| 4 | HONDA | 4,966,037 | 0% | 4 | RAV4 | 807,116 | +4% |
| 5 | NISSAN | 4,750,863 | -2% | 5 | X-TRAIL/ROGUE | 771,145 | -6% |
| 6 | HYUNDAI | 4,076,913 | +3% | 6 | CR-V | 736,471 | -2% |
| 7 | CHEVROLET | 3,881,747 | -1% | 7 | GOLF | 731,561 | -11% |
| 8 | SUZUKI | 3,046,585 | +5% | 8 | PASSAT/MAGOTAN | 660,453 | -2% |
| 9 | KIA | 2,638,782 | +4% | 9 | SILVERADO | 650,654 | -1% |
| 10 | MERCEDES | 2,551,806 | +1% | 10 | HR-V/XR-V/VEZEL | 646,144 | -6% |
| 11 | RENAULT | 2,288,406 | -3% | 11 | RAM PICKUP | 638,194 | +4% |
| 12 | BMW | 2,077,314 | +2% | 12 | TIGUAN | 622,467 | -8% |
| 13 | AUDI | 1,812,411 | -2% | 13 | CAMRY/AURION | 622,316 | +7% |
| 14 | MAZDA | 1,550,131 | +2% | 14 | POLO | 598,500 | +9% |
| 15 | JEEP | 1,548,333 | +11% | 15 | QASHQAI/ROGUE SPORT | 586,940 | +13% |
| 16 | PEUGEOT | 1,533,574 | -4% | 16 | AVANTE/ELANTRA | 574,700 | -6% |
| 17 | GEELY | 1,384,836 | +11% | 17 | HONGGUANG | 545,928 | -9% |
| 18 | FIAT | 1,377,699 | -8% | 18 | ESCAPE/KUGA | 544,827 | -16% |
| 19 | BUICK | 1,291,266 | -12% | 19 | TUCSON | 511,963 | -11% |
| 20 | SKODA | 1,243,494 | +5% | 20 | ACCORD | 499,594 | -1% |
| 21 | MITSUBISHI | 1,060,436 | +24% | 21 | SYLPHY CLASSIC/ALMERA | 496,141 | +18% |
| 22 | SUBARU | 1,053,457 | 0% | 22 | BORA/JETTA/SAGITAR/VENTO | 470,309 | -15% |
| 23 | OPEL/VHALL | 1,005,340 | -8% | 23 | LAVIDA | 468,792 | +3% |
| 24 | CITROEN | 1,000,273 | 0% | 24 | C-CLASS | 459,778 | -7% |
| 25 | BAOJUN | 879,077 | -13% | 25 | CX-5 | 456,712 | +13% |

*Includes LCV. ** Excludes LCV, includes pickups

代わって Honda の Civic が中国の爆発的な需要を背景に第 3 位の地位を占めた。一方で Toyota Rav4 の好調は Nissan X-Trail/Rogue を抑え、SUV のベストセラーおよび販売台数第 4 位となった。2013 年に市場初導入された X-Trail/Rogue は古いモデルという印象を与えたゆえに、米国での需要落ち込みがネックとなり世界販売は 11%減、欧州においては 31%の販売減となった。

Nissan Qashqai/Rogue Sport は X-Trail とは対照的に 13%販売数を増やし、トップ 20 以内で最も伸びた。この結果には前年比 130%増となった米国における人気に寄与している。反対に Ford Escape/Kuga はランクを下げ、トップ 20 以内で最も下落したモデルとなった。

2018 年好調だったのは Nissan Sylphy/Almera、Mazda CX-5、Kia Sportage、Chevrolet Equinox、Toyota Hilux、Jeep Compass、Toyota C-HR、Hyundai Creta、Ford Ecosport、Jeep Wrangler、Toyota Tacoma、Chevrolet Cavalier、Mercedes A-Class そして Suzuki D-Zire である。さらにランクをたどると、Hyundai Kona、Volkswagen T-Roc、Changan CS55、Volkswagen Atlas/Teramont、Baojun 360、Hyundai ix35、BYD Song Max、Tesla Model 3、Skoda Karoq、Geely Vision X3、Baojun 530、Buick Regal、Citroen C3 Aircross、そして Peugeot 5008 SUV も好調な年となった。

本件に対するお問い合わせは下記までお願いします。

JATO Japan Limited

113-0024 東京都文京区西片 2-22-21 本郷 MK ビル 2F

Web: www.jato.com/japan/

Tel: 03-6801-9551

Email: japan.support@jato.com